



松田 治男
(免疫学)

ヤコブ病(CJD)を含め人のプリオン病は治療法がまだ確立していない病で、長い潜伏期の後に、発症すると認知症が進み、数カ月以内に無動性無言の後に死亡します。

伝達性海綿状脳症・プリオン病について②

米国疾病管理予防センター(CDC)の1987年2月の週報に、Bブラウン社(ドイツ)製造の「ライオデュラ」(ヒト乾燥硬膜)を移植された脳外科患者がCJDを発症した一例が報告されました。

年にようやくヒト乾燥硬膜の緊急使用禁止措置を取りました(米国による禁止の10年後)。諸外国と比較してわが国の対応の遅れは顕著で、この医療事故によるヤコブ病(医原性CJD)の被害者数は世界最多という不名誉

十分のままでした。わが国では、この医原性CJDの被害者たちがBブラウン社と国を訴えた訴訟では、2002年ようやく和解が成立しました(2002年は後述の「誓いの碑」が設置された3年後です)。

医療事故による人のヤコブ病(医原性CJD)

「ライオデュラ」とCJD発症の因果関係が不明のまま、米国では「ライオデュラ」の使用が全面禁止されました。一方、わが国では同様のケースが1991年に最初の一例が、96年には多数例が出て、旧厚生省は1997

な結果となりました。Bブラウン社は米国のCDCの報告を受け、1987年の5月からヒト乾燥硬膜製品は全て異常プリオン不活化処理をして販売を開始しましたが、同社による旧「ライオデュラ」の回収は不

しかし、脳外科手術を受けた多くの患者は、本来はその手術で健康を取り戻していたわけですから、Bブラウン社の怠慢と情報収集が後手に回った旧厚生省の責任は重大と言えるでしょう。厚生労働省の正面玄関前

 広島大学マスターズは、広島大学を退職した教職員で組織しています。市民を対象にした講座も行っていきます。
【問い合わせ】
kazuwp@hiroshima-u.ac.jp(渡部)

が望まれるところでは、患者優位の社会的構築



過去の記事